

ISO 9001 認証取得



ISO 9001:1994
JSAQ 190

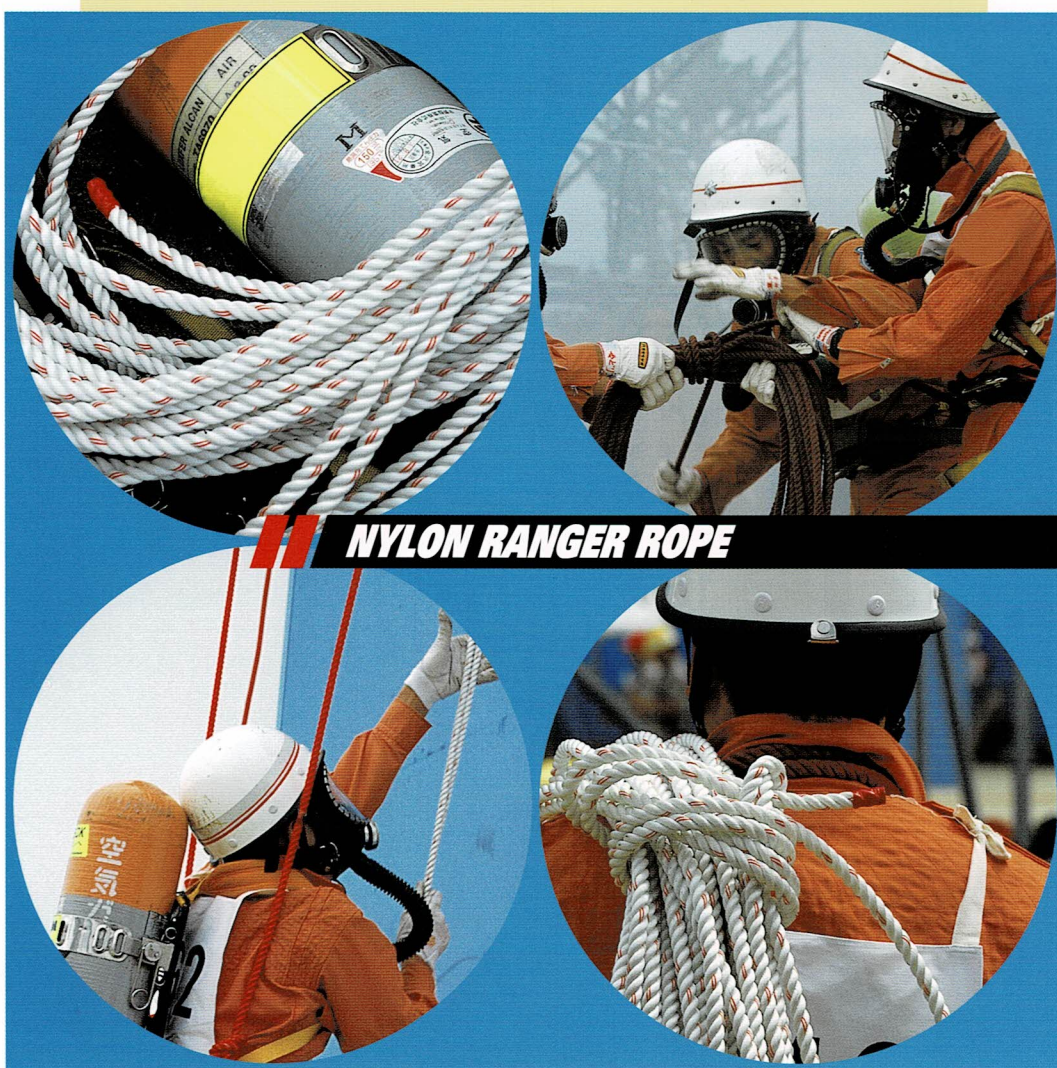
QS Accreditation
R001

信頼の
赤線2本入り

レスキュー用

ナイロンレンジャーロープ

商標登録455084



レスキュー用

ナイロンレンジャーロープの特長

1

すぐれたナイロン高級糸を使用

東京製綱の「レスキュー用ナイロンレンジャーロープ」には、救助用ロープに要求される厳しい要求性能に即したナイロン高級糸を原糸メーカーとの協力により開発し、使用しております。

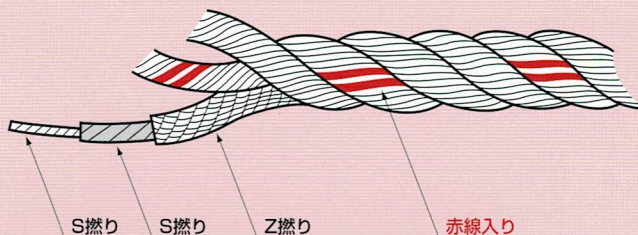
2

独自のヤーン構成

「レスキュー用ナイロンレンジャーロープ」には、複合ヤーン構成を採用し、レスキューロープに必要な耐摩耗性・耐疲労性に優れた特性を発揮します。また、ロープの変形やカラビナとの接触トラブルを防止するため、ヤーンを無継ぎにしています。



■ヤーン構造

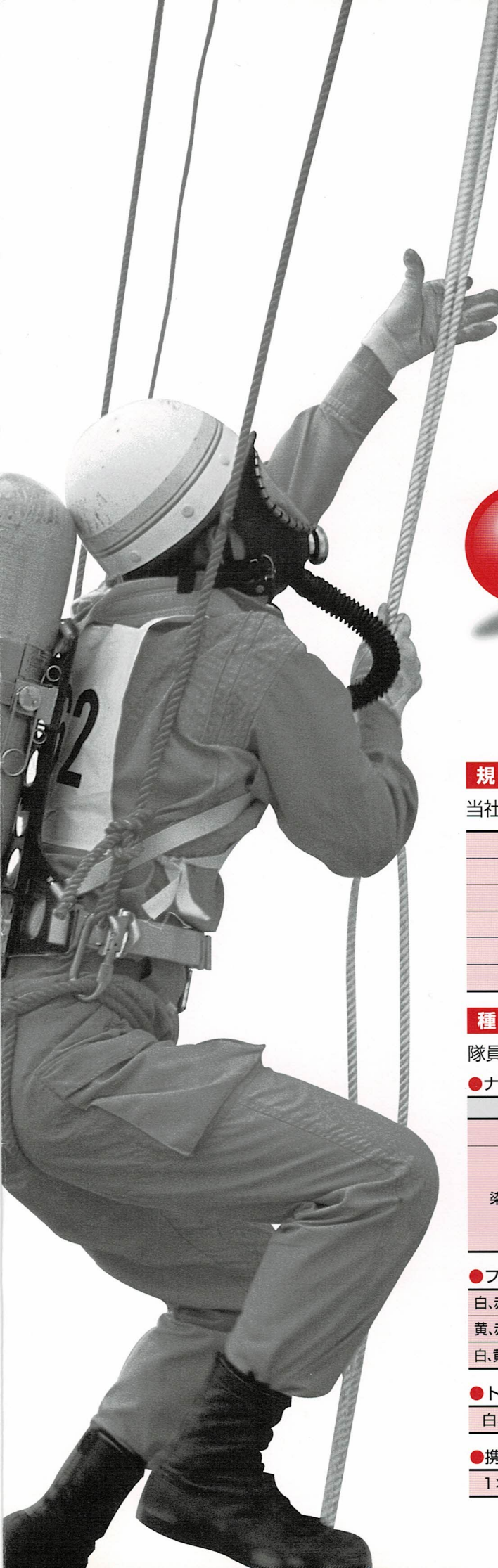


3

特殊熱処理と特殊樹脂加工

ナイロン原糸には強い反発性があり、ロープにした場合撚りを安定させることが必要です。このため、ロープの外側から中心まで一様に撚りを安定するよう特殊熱処理を施しています。これにより、ロープの扱いやすさが向上しました。また、耐摩耗性の一層の向上のために、特殊樹脂加工も施しております。





4

特殊撚《WH打》

キック発生防止のため、特殊撚りを採用し、レスキュー用ロープに適合した強さ、伸び、柔軟性を考慮して製作しています。

5

厳しい品質管理

各工程毎の厳しい品質管理と共に定期的に独立行政法人製品評価技術基盤機構にて特定検査を受けております。(平成12年 通商産業省令第8号で定める基準に基づく検査) また、ロープの硬さ管理のため、東京製綱独自の硬さ試験機を導入し、数値管理を行っております。

規 格

当社のレスキュー用ナイロンレンジャーロープの規格は、次のとおりです。

項 目	仕 様	
構 造	3つ打ち、赤線2本入り	3つ打ち、染色品
呼 称 太 さ	12mmφ	12mmφ
標 準 質 量	18.4kg/200m	18.6kg/200m
引 張 強 さ	2,800kgf (27.4kN)以上	
伸 び 率	45%以下 (JISL-2704の試験方法による)	

種 類

隊員の皆様のご要望に応えるため、多くの種類を用意しております。

●ナイロンレンジャーロープ

		軟	硬			
白、赤線2本入り	12mmφ	S打	M打	Y打	2H打	
染色品	赤	12mmφ	S打	M打	Y打	2H打
	青	12mmφ	S打	M打	Y打	
	緑	12mmφ	S打	M打	Y打	
	黄	12mmφ		M打		

●フローティングロープ

白、赤線2本入り(パイレンマルチ)	12mmφ	14.0kg/200m	1,970kgf (19.3kN)以上
黄、赤線2本入り(キョーレックス)	12mmφ	14.8kg/200m	1,800kgf (17.7kN)以上
白、黄、赤線2本入り(PP特殊マルチ)	12mmφ	14.0kg/200m	1,970kgf (19.3kN)以上

●トーコーライトロープ(蓄光繊維入りロープ)

白、赤線2本入り	12mmφ	18.4kg/200m	2,900kgf (28.4kN)以上
----------	-------	-------------	---------------------

●携帯用ロープ

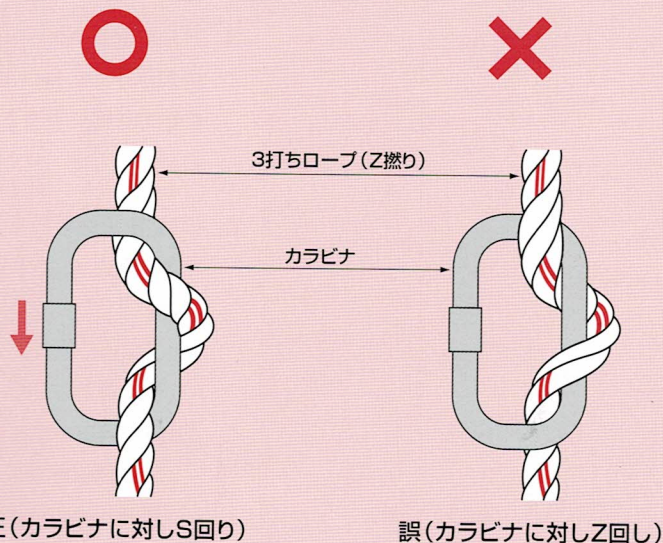
1×12打、オレンジ	8mmφ	9.0kg/200m	1,000kgf (9.8kN)以上
------------	------	------------	--------------------

■取扱いに関する注意事項

ロープは鋭い角(岩・コンクリート・金属など)に直接当たらないように、使用してください。鋭い角を避けられない時は、厚手の布(毛布など)で大きい当て布を必ず行ってください。

ロープを張って訓練する場合、ロープが巻き付けられる支柱、接触するおそれのある足場板の角などに、必ず当て布をしてください。

懸垂下降の際、カラビナに3打ちロープ(Z撚り)を2度通す時は、カラビナに対し、必ずS回りに通してください。



命綱と親綱が接触しないよう、カラビナの周辺を必ず点検してください。接触しますと摩擦熱により、切断事故につながる危険があります。

ロープを地面またはコンクリートの上で、直接、引きずったりしないでください。

火には近づけないでください。
《ロープの軟化点は180℃です。》

酸(バッテリー液など)、アルカリ液のかかるおそれのある所での使用、保管は避けてください。
《特にナイロンは酸に溶解します。》

ロープは使用前、使用後に、目視により点検し、ロープの形状の変化、すり傷、異物(小石、鋼材片など)の有無を確認してください。

ロープを張るとき、過度に緊張しないでください。

キンク、ストランド撚りくずれ、すり傷のあるものは、使用しないでください。

ロープは極力、ダブルで使用してください。

保管に際して

- ①ロープに付着した土砂、小石などを払い去ってください。
- ②ロープが濡れている時は、日陰で通風の良い所で、十分乾燥してから収納してください。
- ③ロープが汚れている時は、水洗いしてから①の方法をとってください。中性洗剤以外の溶剤、薬品は絶対に使用しないでください。汚れをとることは、傷の有無の確認がしやすくなります。
- ④ロープの使用履歴を整備し、破棄時期の参考にしてください。

■登山用ロープ(身体確保用に限る)

平成12年通商産業省令第8号(別表第1)[特定製品区分及び技術上の基準]

特定製品区分	技術上の基準
登山用ロープ(身体確保用のものに限る。以下「登山用ロープ」という。)	<ol style="list-style-type: none">1. すれ、傷その他の欠点がなく仕上げが良好であること。2. 落下衝撃試験を行ったとき、初回にはロープの衝撃応力が技術上の基準の欄の4(2)の表示のあるものにあつては7,845.3ニュートン以下、その他のものにあつては11,768.0ニュートン以下であり、2回目にはロープが切断しないこと。3. せん断衝撃試験を3回行ったとき、ロープのせん断衝撃力が4(2)の表示があるものにあつてはいずれも980.7ニュートン以上、その他のものにあつてはいずれも1,471.0ニュートン以上であること。4. (1)届出事業者の氏名若しくは名称又は通商産業大臣の承認を受けた略号若しくは記号が容易に消えない方法により表示されていること。 (2)二つ折り又は2本で使用するものにあつては、1/2の記号が容易に消えない方法により表示されていること。 (3)登山用ロープを安全に使用する上で必要となる使用上の注意事項の表示が容易に消えない方法により適切に付されていること。

■パンフレットのご案内

陸上部門用として、別途に下記パンフレットを用意しております。

●ナイロン編ザイル ●ナイロンレンジャーネット ●各種高機能繊維ロープ(ケブラー、テクノーラ、ダイニーマ、ベクトラン等)